

平成 30 年 2 月 22 日
行財政改革推進課

平成 29 年度職員提案制度の実績報告について

1. 提案数及び参考とした提案の状況

	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度
提案数	95 件	102 件	75 件	108 件	190 件	89 件
参考とした提案数	64 件 (67%)	27 件 (26%)	31 件 (41%)	27 件 (25%)	40 件 (21%)	23 件 (26%)

1 H24～H28 年度は前年度 10 月～当該年度 9 月、H29 は前年度 10 月～当該年度 12 月

2 H24～H28 年度はテーマ部門、フリー部門への提案を含む

2. 提案を受けて所管課が実行した取組例

(1) 庁内メール (HTML 形式) のわかりやすいマニュアルの作成

【効果】知事・副知事報告、危機管理統括監報告、メールマガジン作成の省力化
(地域連携部)

(2) NPO 法人と一般社団法人の比較表の作成及び外部 HP での情報提供

【効果】県民が公益的活動を行う際の情報提供の充実
(環境生活部)

(3) 公益法人立入検査に関する担当者「便利帳」の作成

【効果】立入検査事務の効率化及び担当者の負担軽減
(総務部)

3. 今後の対応

本年度から、より多くの職員が参画することを目的に、改善提案だけでなく、気づき・問題提起なども応募の対象とする「アイデアBOX」を運用してきました。

身近な事務改善につながる提案がなされた一方で、提案数は低下しました。

制度の趣旨について幅広く職員に浸透させることができなかつた点、今年度は「テーマ別部門」の募集を実施しなかつた点などを踏まえ、振り返りをしているところです。

引き続き、参画する職員がさらに広がっていくよう、職員の意見も参考にしながら、提案数の増加に向けて、業務改善に対する意欲がさらに高まるような仕組みを検討するなど、改善につなげていきます。